

駅前商店会  
第29回 手づくりたごあげ大会

# 大河原町 議会だより

第122号 平成24年2月1日

- ② 議会報告会153人が参加 ……………
- ④ 10議員による町政への提言 ……………
- ⑪ 議会を進化 会期延長を試行 ……………
- ⑫ 民間活力を再び導入 ……………

# ございました

## 議会報告会

# 153人が参加

第1班	第2班	第3班
安藤征夫 佐々木守伸 半澤敏美 枅和也 岡崎隆	平間孝士 万波孝子 山崎剛久 佐藤貴久 丸山勝利	佐藤巖 秋山昇 庄司充 松井美子 堀江一男
11月21日(月)	11月22日(火)	11月24日(木)
金ヶ瀬中央集会所	金ヶ瀬東集会所	新開集会所
参加人数 11人 参加議員 4人	4人 5人	12人 5人
11月25日(金)	11月28日(月)	11月29日(火)
西桜集会所	中町集会所	上川原集会所
参加人数 14人 参加議員 4人	15人 5人	28人 5人
11月30日(水)	12月1日(木)	12月2日(金)
むつみ集会所	東部集会所	上谷集会所
参加人数 7人 参加議員 5人	39人 5人	23人 5人



# ご意見ありがとうございます

## こんな事をしてほしい

### 1班

・金ヶ瀬新町生活センターを町管理の集会所にしてほしい。

・金ヶ瀬地区に設置予定の防災倉庫を広表1号公園に設置してほしい。

・行政区の再編を要望する。

・放射能測定方法の改善と白石川の魚を含めて測定の場所を増やしてほしい。

・大河原公園テニスコートに使い勝手のいいトイレの設置を要望する。

・地区防災倉庫を設置する時、町に補助してほしい。



▲11月21日 金ヶ瀬中央集会所

### 2班

・自然を生かした観光施設や河川敷利用を充実させ、観光に力を入れてほしい。

・堆積土砂の撤去を含めて白石川の左岸右岸の整備をしてほしい。

・道路補修応急措置箇所で段差のある所は十分に処置してほしい。

・放射線測定器を貸し出ししてほしい。

・下水道でトイレトーパーは流さないようにしているが、利用者の目線にそったお知らせをしてほしい。



▲11月28日 中町集会所

### 3班

・県道蔵王大河原線の歩道整備を早くしてほしい。

・合同庁舎近くの丁字路交差点に信号機を早く設置してほしい。

・商店街の活性化対策を要望する。

・生産物の放射能被害での補償等の生産者を守る対応を強く求める。

・震災対応の下水道工事の予定が判ったら、地区にも教えてほしい。



▲11月24日 新開集会所

### 議会への意見

#### 改善点はないか

・正副議長の選任、不信任は、透明性のある手法が必要ではないか。

・議場での態度が良くない議員が多いのではないか。

・議会開催を夜間、休日という声はないのか。

・町長提出議案で、否決件数がないのはなぜか。

・議会報告会資料はわかりやすく作製すべき。

・報告会開催の周知はもっと早くすべきではないか。

・議会報告会に臨むにあたって、議員の勉強不足はいなめない。

今後の議会のあり方、方向性に対して、議会が取り組まなければいけない課題が指摘されています。また議会報告会に関しては、内容を充実、進化させて、町民の方々と一層の情報共有化を図ることができると報告会を心がけていきます。



柘 和也 議員

町内学校のそれぞれの体育館の建築年月日・床面積は、大中（昭和39年で1、156㎡）・金中（昭和41年で716㎡）・大小（昭和51年で1、184㎡）・南小（昭

老朽化し、先の大震災でも器具の落下・モルタル壁の亀裂・落下など、町の指定避難所となつていても、危険で使用することができなかった。

## 金ヶ瀬中学校体育館建替えをどうするか。

いのか。

**答** (1)屋根・床・雨漏の改修・武道のできる施設

整備等の要求のほか、体育館がかなりせまいため卓球

を受けて厳しい調査結果となる場合には、財政も考慮しながら、建替えも念頭においた検討をしていく。

## 一般質問

一般質問とは、町長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをただすもの。今回10人の議員が行った。

柘 和也 議員 ……P④

- 金ヶ瀬中学校体育館建替えをどうするか。

堀江一男 議員 ……P⑤

- 放射能対策にどう取り組むか。

庄司 充 議員 ……P⑥

- 追跡、民俗資料収蔵室を考える

佐藤貴久 議員 ……P⑥

- こんな教育の町に住みたい

丸山勝利 議員 ……P⑦

- AEDの設置状況は

半澤敏美 議員 ……P⑧

- 厳しい就職内定率にどう取り組むか。

松井美子 議員 ……P⑧

- 大河原町地域防災計画は

佐々木守伸 議員 ……P⑨

- 東京電力福島原子力発電所の放射線事故への対応
- 東京電力福島原子力発電所の放射線事故に関する損害賠償(掲載外)

万波孝子 議員 ……P⑩

- 放射線汚染から町民の命と健康を守る対策は

岡崎 隆 議員 ……P⑩

- 議会報告会に寄せられた町民の声

# 町政への提言 Q & A





堀江一男 議員

## 放射能対策に どう取り組む

**問** 新聞には、毎日各地の空中放射線量や農作物等の放射線量が報道されている。

(1)町のホームページでは、町内50力所の公園の測定値を載せている。

①0・3マイクロシーベルトを超えている公園が8カ所。数値の高い公園を除染する考えはないか。

②放射線量が高く出るのは排水溝と言われているので、学校や保育所等の測定値を公表すべきと思つたがどうか。

(2)同じく町のホームページで町内農産物等の放射能独自調査を公表しており、柿等数品目にセシウムが検出されているが国の暫定規制

値を下回っていますとある。

①規制値は下回っているが、数値が出た事を知った人はこの品物を買つてしまうか。

学校給食に出した場合、保護者は納得するか。

②放射能が検出された農家の反応とその対策について。

③東京電力に被害補償を求める考えはあるのか。

④町独自による食材の検査をする考えはないか。

**答** (1)国において特別措置法が公布されており、それらに従つて対応していきたい。

(2)①数値の高い農産物の購入の有無については、基準値以下なので安全と考えて



▲金ヶ瀬中学校体育館

和57年で1、398㎡・金小(昭和60年で1、112㎡)である。

大中・金中とも耐震化工事は実施済みである。しかし築年数が古い大中は、以前に大規模な改修工事が行われた経歴があるが、金中は行われた経歴がなく、壁、照明器具はじめ設備器具が

**問** (1)これまで、教育の現場(金中)からどの様な要望があったのか。

(2)学校の中で床面積が一番小さいが、体育の授業・部活動が充分に出来ていると認識しているのか。

(3)体育館を教育、そして地域の防災機能を兼ね備えたものに、建替える考えはないか。

部が廊下で部活をしている状況もある。

(2)バスケットコートは一面確保できず、バレー・バスケットの2つの部が半分ずつ使用している状況で充分とは考えていない。

(3)現在、将来的な改修も見込んでの調査・設計の業務委託をしている。調査結果

放射能は怖い  
素早い対応を

ちょっと  
ひとこと〇〇



▲役場前での測定

激しい老朽化・非常に狭い  
早期の建替えを

ちょっと  
ひとこと〇〇

と協議し検討する。

④消費者庁による機器の貸与の決定を受け、一月中には実施したい。



佐藤貴久 議員



庄司 充 議員

## 追跡 民俗資料収蔵室を考える

### こんな教育の町にすみたいな

**問** (就学前教育はどうあるべきか)  
①統合保育所で、保育サーピスが拡充される内容は具体的に何か。  
②発達障害学習、発達支援

学校教育の充実を図る)  
⑥学習内容が大幅増。理数教育の充実を図る取り組みは何か。  
⑦全県1学区移行2年目で、進学実績に変化はあるか。

協議する。年齢ごと定員は現状ではむづかしい。  
④特色ある保育園づくりを更に高めていただく。  
⑤町として、チェック機能をはたし、情報の共有化を

が高まる。競争に打ち勝つ知力、体力が身につくような教育環境を整備する。

**答** 民俗資料収蔵室の被害は、外壁および内壁モルタルの亀裂や落下も多く

次に民俗資料収蔵室を本格検討実施の考えはないかと  
の質問だが、第五次長期総

**問** 今回の東日本大震災で民俗資料収蔵室はどれほどの被害を受け、その修復と現状はどうか。今後資料集蔵室と中央公民館に保存されている昆虫室を併設して資料館に格上げし建設する考えはないか。町が民俗資料収蔵室に対する意識が薄いように感じるが、町長、教育長、関係職員はどれほどの関心と思い入れをもっているか。町の長期総合計画の中で本格的に検討実施の考えはないか。

展示棚も倒れ収蔵品の破損があった。現在修復整理作業に努めている。次に、昆虫室との併設だが今後資料館の検討をする時期、町の歴史と貴重な資料の教育的価値を広く町民に公開するため両者の併設は大いに期待されるので設置見直しを視野に入れながら協議を進めてゆく。文化財に対する意識認識が薄いのではないかと、言うことだが、町の歴史と伝統を尊重し文化発展を願う行政の立場から決してそのようなことはない。

町の文化を  
軽視してはならない  
もっと真剣に  
ちょっとひとこと

合計画「文化財に関する基本計画」として歴史を大切に、新しい文化を創造する環境づくりとして明示してあり、その政策の目指すべき方向「文化遺産の保護と活用」に視点を置き民俗資料等を展示公開できる施

設の検討を長期総合計画の枠組みの中で検討段階に入ることとなりその時点で明確な協議になると考えております。



▲大河原中学校に隣接の民俗資料収蔵室





丸山勝利 議員

## AEDの設置状況は

(1) 町内でAEDが設置してある場所は何か所あるのか、今後設置予定はあるか。また、設置場所のマップなどを作ってはどうか。  
 (2) 町内でAEDが使用され

**問** 自動体外式助動器AEDは機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電気的なショックを与え、心臓の動きを戻すことを試みる医療機器で、救命に大いに期待され、救命活動の際には必需品として欠かせないアイテムとなっている。今では医師や救急救命士だけでなく一般人でも使用できるようになっている。町民の生命を守るためにもどうか。

**答** (1) 町内約30カ所の施設に設置してある。町の施設には設置してあるので新たな設置予定はない。マップは検討したい。

た事故等はあったか。  
 (3) 町職員は講習を受講しているか。町民の安全を守るためにも全職員や消防団や交通安全指導員など講習を受講するべきではないか。  
 (4) 小中学校でAEDの使用方法や急病人を見かけた場合の対処法などの講習を行っているのか。救命や命の大切さの教育は教科授業と同じくらい大切ではないか。全学年で教えるべきではないか。



▲建設中の保育園

研修会の取り組み状況は。  
 ③ 看護師の配置、受け入れ年齢ごとの入所定員を定めることはできないか。  
 ④ 民間認可保育所の保育内容をどう評価しているか。  
 ⑤ 30年間無償貸与する上で、財務状況、保育サービス状況をどう確認するのか。  
 (社会生活に順応できる中

⑧ 24年度より廃止となる推薦入試制度の対策は講じてあるのか。  
**答** ① 延長保育を45分拡充して実施する。  
 ② 県保育所協議会で開催する研修会に今後とも積極的に参加していく。  
 ③ 看護師の配置は前向きに

図っていく。  
 ⑥ DVDやソフトの活用を増やし、学習効果をあげる。学力のボトム・アップの環境を充実させる。  
 ⑦ 仙台エリアへの志望者が微増しているが、地元志向が強い。進学判断基準を明確にしていく。  
 ⑧ 廃止によって、競争原理

救命を通じて命の大切さを  
 ちょっとひとこと

(2) 来町者が心肺停止状態になり心肺蘇生及びAED使用により救命し社会復帰した事例がある。  
 (3) 町職員の半数程度は受講していると思われる。今後受講するように努めたい。  
 (4) 年1回程度教職員を対象におこなっているが生徒を



▲役場玄関ロビーのAED

就学前教育が問われています  
 ちょっとひとこと

対象には中学校2年の終わりに1回開催している。今後年間スケジュールの調整が必要なので検討したい。



松井美子 議員



半澤敏美 議員

## 厳しい就職内定率に どう取り組む

### 大河原町地域防災計画は

**問** 東日本大震災の被害、9月の台風による大雨浸水被害が続いた。地域防災計画の見直しが必要ではないか。

排水路の形状・規格を土地利用状況に合わせて改修・新設を。  
(5) 鷺沼排水事業計画の進捗状況は。

など一定役割を果たした。が、情報伝達や人員配置、放射能問題などで課題が出た。  
(2) 宮城県の防災計画と整合性を図って取り組む。

報を参考に対応した。  
(7) 地区独自に様々な活動が行われた。防災意識の高揚

長引く景気低迷、デフレ、経済不況また東日本大震災により、今年度も高校生・大学生の就職状況は厳しい状況下である。厚生労働省は来春卒業予定の高校の求人、就職状況を発表し、求人倍率は0.68位で前年度より0.01ポイント増とほぼ前年並みである。東日本大震災の影響が大きい東日本で求人数の落ち込みが目立った。

**問** (1) この厳しい就職状況についての、今後関係機関との連携強化が必要と思われるが、就職の内定率が好転するための連携強化策について町長の見解は。  
(2) 来年度町としての新卒者を

を含め雇用の考えはあるのか。又町として就職相談窓口を設け対応する考えはないか。  
**答** (1) 若者を取り巻く雇用環境は質・量ともに依然として厳しい状況が続いております。国もこうした状況を受け、きめの細かい就職支援や民間企業の雇用創出に向けた環境整備に取り組むとともに、7月には厚生労働、文部科学、経済産業の3大臣の連名により主要経済団体・業界に対し、来春卒業予定者等の採用枠の拡大について要請を行ってきている。雇用対策にあたっては、関係機関の連携

と協力が大変重要なことで、今後とも国・県はもとより、地元ハローワーク、教育機関、関連企業等と連携して対策を講じてまいりたいと考えております。  
(2) 現時点で行政職9名、保健師1名を採用する予定であります。また、高校生の



▲ハローワーク大河原

厳しい就職状況を考え、来年度も就職先未定の新卒高校生を臨時職員として4名採用する計画です。相談窓口も検討いたします。

就職雇用向上に  
企業誘致対策を  
当町で考えるべきである。  
ちょっとひとこと





## 東京電力福島原子力発電所の放射線事故への対応

佐々木守伸 議員

**答**

国の責任は、エネルギー資源の乏しいわが国において、国民生活の向上や産業の発展を目指す中で、安定したエネルギーの確保

**問**

東京電力福島原発は3月の東日本大震災の津波により停止し、放射能漏洩・汚染事故が発生した。原発事業開始以来の最大の事故である。これに関してこの政策を維持してきた政府の責任、町の対応はどうするのか。

**答**

(1) 災害対策本部設置、避難所運営、給水活動  
(2) 全国的な情報提供に役立つたか。  
(3) 地域の自主防災組織が果たした役割と生かすべき教訓は何か。  
(4) 全国的な情報提供に役立つたか。  
(5) 浸水排水対策は万全でない。新設・改修には現地調査に基づく検討が必要だ。  
(6) 事業認可申請書類作成と添付資料をまとめている。  
(7) 本年度内の認可取得予定だ。  
(8) 逐次入る自然災害関連情報

を図るため、国は原子力政策に取り組んできたものと認識しております。

原子力政策は、安全の確保が大前提です。それがされなかったことでの国としての社会的責任は大きく、今回の事故については、責任を持って対処していただきたいと思っております。

宮城県は、今回の原発事故に伴う「放射能汚染事故」を「知事を含めて全ての自治体が憂慮しており」国と電力の責任において、放射

(3) 重要との認識だ。自助・共助・公助が適切に機能する社会形成に取り組む。  
(4) 浸水排水対策は万全でない。新設・改修には現地調査に基づく検討が必要だ。  
(5) 事業認可申請書類作成と添付資料をまとめている。  
(6) 本年度内の認可取得予定だ。  
(7) 逐次入る自然災害関連情報

能汚染事故にしっかり取り組まれるよう要望している。町としても同じである。

放射能対応に様々な意見がありますが、町として国の基準に沿った対応を採っていく中で、学校給食対応

大河原町も被災地です。

ちょっとひとこと

自然の力の過去の影響と動向から目を離せない。

ちょっとひとこと



▲10月12日の放射能に関する講演会



岡崎 隆 議員



万波孝子 議員

## 放射線汚染から町民の命と健康を守る対策は

### 議会報告会に寄せられた町民の声

「住民に開かれた議会」への取り組みとして11月21日より議会報告会が町内9カ所で開催された。住民からは議会への批判、町への要

④人員配置、研修等で放射線対策室の充実を図るべき。急いでいただきたい。  
⑤対策室の人員等にかかる費用を当然、東京電力に請

べくレル検出された。国の基準は下回っている。  
②町内には線量の高い場所もあり、住民からの問い合わせも依然多く、正確な調

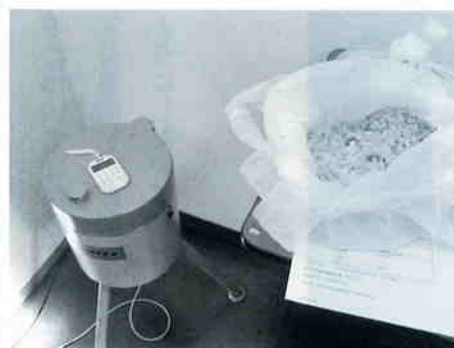
(2)大河原町議会の改革に異論は唱えない。庁議での意見も参考に、議会の活性化に期待する。

福島原発事故によって、大量かつ広範囲に放射性物質が大気中や海域に放出された。特に小さい子どもは放射線の感受性が高いので将来病気になるリスクが高く、親の心配は計りしれない。今、行政がすべき事は測定箇所を増やし、学校・保育所など子どもがいつも使用する施設や近づく場所を、町民の協力を得ながら早急に除染作業を行うことである。給食の食材は大丈夫？の声も出されている。

**問** (1)学校や保育所の給食食材の放射性物質検査の状況は。  
(2)町独自で食品放射能測定器を購入し、給食の食材だ

けでなく、一般町民も利用できるようにしてはどうか。  
(3)町の除染対応は遅い。国に指定されなくても、他市町では汚染マップの作成や除染作業をしている。当町でも0・23マイクロシーベルト以上は町民の協力で直ちに除染すべきでないか。  
(4)放射能汚染地域には、県境町境もない。心配される子どもや妊婦、町民対象に健康調査を実施できないか。  
(5)専門職員の配置で相談や情報提供できる「放射能対策室」を設置する考えは。  
(6)側溝の汚泥の汚染調査と処理の扱いは。

子どもを守るのは、行政と大人の責任で。  
ちょっとひとこと



▲民間の放射線測定室「てとと」

**答** (1)学校は産地確認の他一部生産業者、納入業者が独自に検査報告書を、保育所は産地の報告を頂いている。  
(2)消費者庁から検査機器が配備される予定だが、町単独でも購入を検討したい。  
(3)町の汚染マップは作成す

る。国の除染調査地域の指定を受け、除染計画の策定をしていく予定でいる。  
(4)今後、検討していく。  
(5)放射能対策室をつくり放射能に関する対応にあたる。  
(6)2・12マイクロシーベルト。シートかぶせ保管。



# 議会を進化



▲11月30日の議会報告会

望等が数多く寄せられたので以下問う。

## 問

- (1)放射能対策
- ①白石川の魚は安全か。調査されているか。
- ②汚染状況重点調査地域の認定に手を挙げた理由は。
- ③放射線対策室の設置は検討しているか。

求すべきと考えるがどうか。  
 (2)議会改革対策、会期延長の試行、休日開催等、執行部にも負担増となるが協力してほしい。

## 答

(1)①アユの調査がなされ、6月に柴田で64ベクレル、8月に蔵王町で85

査が必要であるから認定に手を挙げた。  
 ③来月の設置に向け、準備中である。  
 ④まだ準備に入ったばかりで何も決まっていない。  
 ⑤指摘はもつともであり、請求する方向で考えていきたい。

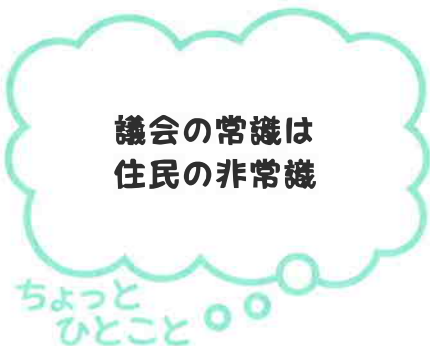
## 会期の延長を試行

現行の地方自治法では、議会の招集権は首長にあり議会が主導的な役割を果たせていない。災害対応、財政難など住民の声を速やかに議会に反映させることを議会報告会では町民の声として強く要望されました。本来は議会基本条例制定の審議の中での結論付けが望ましいが、この度具体的な取り組みとして、通年議会を視野に、年

4回の定例会を変更することなく暫定的に会期を次回定例会の招集日の前日までと定め、議長判断により休会と再開を繰り返すことで会期の延長を行い、随時議員提出議案の提出、受理ができる利点を生かし、災害時の緊急対応や突発的な行政課題に対して議会としてのチェック機能の充実強化を積極的に図るものである。

## 議長選に透明性を

新聞報道にもあった通り先般、議長選出に際し、震災対応の最中に審議拒否など町民の信頼を失う事態を招いた。議会での議長選挙は著しく透明性に欠けている現状を踏まえ今後、町民に開かれた議会を実現するために議長、副議長に選ばれようとする者は所信表明演説を行うこととし、準備会、演説会等、要綱として定める方向で検討している。



議会の常議は  
住民の非常議

ちょっと  
ひとこと



# 民間活力を再び導入

第8回定例会は、12月7日から2月29日までの85日間の会期となった。7日招集で13日再開となり15日までに提出された議案等の審議が終了し、16日からは休会となった。



▲総合体育館「はねっこアリーナ」

## はねっこアリーナ 住民サービスを充実

**問** 指定管理委託料に見合った業務サービスの提供と実績は十分なのか。全員協議会での指定管理者案件協定書を開示しての議論が必要ではなかったのか。

**答** 更に従業員の処遇については給与の基準、社会保険等について明らかにされていないがどうなったのか。  
夜間利用の利便性を高めている。サービス内容は改善されていると判断している。今後、充分に利用者の声に適切したい。又、議論に関してはおっしゃる通りで、実績

所を添付します。従業員の処遇基準を制定し運用している。

## 安心して暮らせる 地域社会づくり

デイサービスセンターを常盤福祉会に委託する。職員14名で所長、次長、相談員2名、介護福祉士5名であるが、桜寿苑との併用となっている。

## たがいに支えあい たがいに協力するために

福祉作業所さくら福祉協議会に委託。時間延長、身分の保障等で予算が増額される。今後、施設の拡充の予定はない。

## 中心市街地活性化に 寄与すること

大河原町駅前コミュニティセンター及び駅前立体駐車場は㈱まちづくりオーガに指定管理を行わせる。27年3月までの3年間、年5、400万円の予算です。

(4議案全会一致で可決)

## 官民格差を是正 町長給与を減

町長特別職平成23年度の人事院勧告によりマイナス0・5%の勧告があり本勧告通り改正するものである。職員55歳以上の給与を1・5%引き下げる。議員報酬0・5%引き下げる。

## 〔反対討論〕

万波孝子 議員

3年連続の給与引き下げは、震災後不眠不休で公務にあたってきた職員の士気を損ないかねない。民間給与にも連動し、疲弊している地域経済に悪影響を及ぼすので反対する。

## 〔賛成討論〕

堀江一男 議員

人事院勧告は3年連続減額と職員には厳しいものと受止めるが、一貫して人権を守るといふ町長の姿勢は支持できる。一方、管理職の給与に配慮した点も併せて賛成する。

(賛成12人・反対2人)

## 中核病院の経営形態の 見直しを図る

## 〔反対討論〕

松井美子 議員

公営企業法全部適用し地域完結型医療センターを目標とするには  
①機能分化・集約化で刈田病院との合意。  
②郡医師会と連携協力の合意。  
③院内医師等の十分な納得  
④地域住民の十分な理解が前提。が関係者との話し合い説明が不十分で時期尚早。

## 〔賛成討論〕

佐藤貴久 議員

みやぎ県南中核病院は、自治体病院として健全経営が求められる。地域に必要な医療を安定的、継続的に提供するため改革している姿勢を高く評価する。全部適用という経営形態の移行後の病院機能の充実と更なる経営改善を期待する。

(賛成12人・反対2人)



# 委員会調査 町への提言

総務文教常任委員会

産業建設常任委員会

## 大河原小の防犯対策

不審者対策として門扉の新設、出入口の施錠、全職員が催涙スプレーの常備。防犯カメラによる監視、防犯ブザーの設置。来校者記録簿への記入と入校許可証の義務、職員による校地内の巡視の徹底を図っている。

## 西地区交流センターの建設を急げ

西地区の交流センターと防災公園の平成26年実施に協議が進められている。



▲(仮)西地区交流センター予定地

## 金ヶ瀬さくら大橋 進捗状況

平成24年度完成となっている。交通量が増えると思われるので安全対策が必要である。

## 農作物の放射能 残留本調査の状況

町内産玄米については、9月13日に5地点で検査し結果はセシウムは不検出である。野菜類は飲食物摂取値を下回っている。学校給食の安全確保のために、放射性物質検査機器の購入が望ましい。



▲建設中の金ヶ瀬さくら大橋

# 請願

## 道の駅設置を 要望する

(提出者)

平間孝士 議員

国道4号においては、福島県二本松から宮城県大崎市三本木間に道の駅が無く、国道4号利用者の休憩施設、情報発信基地、産業振興施設、及び災害時の避難場所や被災者支援の防災拠点施設として期待されております。よって金ヶ瀬地区に道の駅設置を要望するものである。



▲金ヶ瀬川根地区の航空写真

## 一般会計主な補正予算 (第9号) (単位:万円)

収入	地方交付税(普通交付税)	8653
地方交付税	(震災復興特別交付税)	2億1129
廃棄物処理事業費補助金		1億5882
財政調整基金繰入金		1億6482
支出	罹災者見舞金	50
災害援護資金貸付金		500
住宅災害復旧事業補助金		500
倒壊家屋解体処理業務委託料		2億767
仙南リサイクルセンター負担金		185
西校1号公園舗装補修工事		340
アナログTV		△400
共同受信施設撤去工事		△400
防災行政デジタル無線整備		1億3100

# 議会 活動日誌

今回は11月・12月・1月の活動報告をいたします。

## 11月

15日 全員協議会

## 12月

5日 全員協議会

6日 議会運営委員会

7日 第8回定例会招集日 全員協議会

総務文教常任委員会 産業建設常任委員会

13日 第8回定例会再開日 全員協議会

14日 第8回定例会

15日 第8回定例会

21日 広報編集委員会

## 1月

16日 産業建設常任委員会 所管事務調査

18日 議会運営委員会 第8回定例会(1月会議) 全員協議会

23日 総務文教常任委員 所管事務調査

27日 連合審査会

# こんな町に住みたい

大河原南小 高橋 遼泰



ぼくは2年生の時に東京からこの大河原町に引っ越して来ました。東京ではたくさんの店があり、電車やバスなど、とても便利な物が身のまわりにたくさんありました。

でも大河原町は東京に比べたら便利さはありません。ここでは近所の人たち、学校みんなの温かさがあります。昨年の大震災の時は、近所どうしで助け合い、声をかけ合いました。みんなが楽しく学校生活を送っています。南小学校で卒業できることをうれしく思います。

大河原南小 水戸 るみ



この町に住んで良かったと思うところは、イベントが多いことです。

わたしは、オートナムフェスティバルやクロスカントリー大会、キッズマートと様々な活動に参加して素敵な思い出がたくさんできました。また、「AZ9ジュニアアクターズ」に所属しているの、毎年公演でお客様の笑顔に勇気をもらっています。こんなすばらしい経験ができるのは、大河原町に住んでいるからです。わたしは、大河原町が大好きです。これからもたくさんさんのイベントでみんなを楽しませてほしいです。

**3月議会のお知らせ** 議会を傍聴しませんか  
**招集日 3月1日(木)・再開日 3月7日(水)**  
 詳細は議会事務局まで ☎53-2800

# 町村議会広報会議



平成23年11月10日午後、宮城県自治会館研修室において議会広報研究会が開催されました。「議会広報のあり方とチェックポイント」と題して城市創氏の講演を拝聴してまいりました。その中で、住民に伝わりやすい紙面づくりには「先輩議員の原稿でも勇気を持って修正をすることが不可欠」というアドバイスが非常に印象に残りました。

## 街かど ワンショット

町民の皆様にお馴染みの天然温泉いい湯もち豚館の前の雑木林を自然公園にと伐採整備していた所、夫婦杉の大木を発見。

この夫婦杉の存在は地元の人にもほとんど知られる事なく、黙々と今日まで育ってきたようです。夫婦杉の周辺は整備され、散策コースとなっています。

天然温泉いいゆもち豚館にご来場の際は、又は近くを通った時は是非一度お立ち寄り頂きご拝顔を。

# 編集後記

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は誰も予想し得なかつた大震災に見舞われました。被災にあわれた皆様にご心からお見舞い申し上げます。昨年11月21日より12月2日まで9ヶ所の会場にて議会報告会を開催し、153人の参加を頂戴して大変ありがとうございました。ご要望ご意見につきましては全員協議会で検討しました。町民の皆様から信頼され期待される議会を目指して行きます。

(半澤敏美委員)

- 編集発行責任者** 議長 佐藤 巖
- 議会広報編集委員**
- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 岡崎 隆  |
| 副委員長 | 半澤 敏美 |
| 委員   | 佐藤 貴久 |
| 委員   | 山崎 剛  |
| 委員   | 平間 孝士 |
| 委員   | 安藤 征夫 |